

平安の都 鬼無里

鬼女紅葉菩提寺

松巖寺

花祭りライトアップ

令和5年4月23日(日)

午後5時～

参加無料

この奥に桜の里のあればこそ
裾花川と人はいうなれ

午後4時～受付

5時～花祭り法要

5時30分

道元禅師一代記 絵解き

6時15分～6時45分

奉納演奏コンサート(屋外)

7時30分

ライトアップ終了

※雨天荒天の場合、演奏は本堂内で行い、
ライトアップは中止する場合がございます。

降誕会 花祭り



お釈迦様は生まれてすぐに七歩あるき、右手は天を、左手は地を指さし「天上天下唯我独尊(てんじょうてんげゆいがどくそん)」と「この世に生を享けたひとりひとりの命は、他の誰とも代わることのできない尊いもの」と仰いました。その後悟りを開きブツタとなられました。

お釈迦様の誕生を祝福するとともに子供達の健やかな成長を願う大切な行事です。

奉納演奏

和太鼓奏者 ヒロ&リエ



10年前、神奈川から長野市大岡の築223年の古民家に移住。

横浜では和太鼓グループ「撥當・ばちあたり」に所属し、祭りを中心に演奏活動。水清き里山で、野良仕事(田んぼや畑など)を励みながら、ヒロさんは画家として、リエさんは陶芸やヒーラーとして、自然豊かな暮らしを楽しんでおられるご夫婦です。

曹洞宗開祖 道元禅師一代記 絵解き 松巖寺住職



幼少期に両親を亡くし、家を抜け出し、比叡山を訪ね出家。宋に渡ってから起こる様々な出来事。悟りを開き帰朝し、永平寺の建立など、禅師の生涯を通して曹洞宗誕生のドラマを、四幅の掛軸にて語っていく。

四幅の掛軸に70場面描かれており、更級郡中氷飽村(現 長野市稲里中氷飽)出身の絵師、臨江斎が江戸時代文政5年(1822)に描いたもの。

絵解きは、寺院が信仰を広める布教活動の一つの方法で、松巖寺では令和元年より絵解きを始める。



※本堂内はマスク着用
でお願い致します。

※会場を換気しながら
行いますので温かい服
装でお越し下さい。

鬼無里観光振興会



お問合せ先
松巖寺026-256-2061

※公共交通機関はありません。